

「ほっかいどう学」地方創生塾（網走市）

2年目 第1回

日 時	令和2年8月30日（月） 10時～12時
会 場	網走市西コミュニティセンター
参加者	31名
内 容	子どもイベントキャラバンサポーター養成講座 「全国の子どもイベントの事例学習」

今年度の地方創生塾は、「子どもイベントの企画と参加の仕方を学び、コミュニティセンターなどを会場とした子どもイベントキャラバンの実践を目指す」ことを目的に、来年2月まで計3回実施します。西コミュニティセンターを会場にした第1回創生塾には、31名の網走市民が集まりました。

昨年度に続き、一般社団法人とちぎ市民協働研究会代表理事の廣瀬 隆人 氏を塾長に迎え、「まちの活性化と子ども事業」をテーマに、「地域の現状」や子どもが福祉委員として、高齢者の買い物に付き添いボランティアとして関わるなどの「子どもでつながる地域づくり」をする事例、栃木県鹿沼市の子どもたちが「ミニかぬま」という子どものまちをつくり、店を構えて物を売買したり「子どものまち」の市長選挙を行ったりするなど、まちづくりから住民自治や社会の仕組みを学ぶ「担い手育成としての子どもの体験事業」を参加者に分かりやすく紹介いただきました。

講演終盤には、廣瀬塾長から来年度網走市で新たに活動する「子どもイベントキャラバン」実施に向けて、活動の進め方や参加者間の連携、活動の継続などの工夫について、アドバイスいただき終了しました。

次回は、10月25日（日）南コミュニティセンターで開催します。

成果と課題

定員を超える申込みがあり、講座の趣旨に賛同する市民が多く集まりました。

第1回目講座は、講師から全国の事例を紹介いただく講義形式だったこともあり、参加者同士の交流を図るまでには至っていないため、今後の講座を通じて横の連携を深めることが課題となります。



【コロナウイルス感染症拡大防止対策した研修】



【写真や動画を活用しながら説明する廣瀬塾長】